

(平成 30 年 1 月試験研究業務月報)

試験研究課題：原原種生産

研 究

ウイルス病の無い良質な種子生産に向けて

京都府特産の黒大豆「新丹波黒」と小豆「京都大納言」は、種子を介してウイルス病が伝染し、収量や品質が低下することから、ウイルスに感染していない種子の生産が重要です。

このため、農林センターでは、採種農家が生産した種子について、ウイルス検定を実施しています。検定では、種子を加温したガラス温室内で育て、葉にウイルス病特有の症状があるかを確認しています。疑いがある株は、さらに免疫反応を利用した検定により、ウイルス病の有無を判定し、感染していない種子だけを生産農家に供給しています。



発芽した新丹波黒の苗



小豆の苗の状態を調査